



鈴木 正範 議員

自然環境を保全しながら 里山づくりを推進せよ

山田町長／森林の保護・育成に努める

鈴木

総合グラウン
ド周辺の山林

の手入れ、ならびに、高倉山一帯を自然公園と位置づけ、「町木・桜」「町花・山ゆり」「町鳥・めじろ」の観察地としてのモデル里山づくりを実施していただけませんか。

また、未利用町有林の条件付貸付または売却による里山づくりの推進と有害鳥獣駆除の促進、ならびに、小さい虫被害の山林での広葉樹の撫育やキノコ栽培・木炭づくりを推進できませんか。

町長

森林環境交付
金事業や流域

森林整備事業などを活用し、維持管理をはじめ、広葉樹への樹種転換などを実施してきました。

また、平成9年度より高倉山環境整備事業を実施し、町民の憩いの場として整備をはかってきましたが、今後も良好な自然環境を後世に引き継ぐために、身近な森林の適正な管理とともに、保護・育成に努めていきます。

遊休農地を産品づくりに活かせ

山田町長／特産品の生産につなげたい

鈴木

遊休農地（水田・畑地）の

（アウトドア・ホスピタリティ）的な活動の展開をどう考えますか。

実態ならびに転作作物として推奨されてきた菜種・そば・大豆・小麦などの成果と今後の見通しについてはどうなっていますか。

また、休耕水田への酒米の植付けと地酒づくり、ならびに遊休農地を利用した屋外病院

町長

遊休農地は昨年度の調査で

49ヘクタールであり、転作作物の成果と今後の見通しについては、平成20年度の実績で大豆1・7ヘクタール、小麦1・2ヘクタール、

そば1・2ヘクタールを作付けし、乾麺や味噌に加工して販売されています。

今後は、町の特産品としてさらなる拡大をはかるため、県の補助事業で大豆・麦・そばの汎用コンバインを導入し、生産の拡大につなげていきます。

また、休耕田の活用については、第1段階として、大豆・麦・そばの生産に全力で取り組んでいく考えです。

なお、遊休農地を利用した屋外病院的な活動については、今後、長期的な視野に立って研究していきます。



マイタケ栽培を習う子どもたち（小学校）

二酸化炭素の排出削減目標を立てているか

山田町長／検討委員会を設置したい

北郷 役場では、地球温暖化対策

への取り組みとして、電気、ガソリン等、項目ごとに二酸化炭素の排出削減目標を立てていますか。

二酸化炭素の排出量を削減できる取り組みを具体的に示して町民に協力していただくことや、環境教育の観点から小中学校に太陽光発電パネルを設置することについて、どう考えますか。

町長 「(仮称)広野町地球温暖化

対策検討委員会」を設置し、その取り組みを検討していきます。また、小中学校への太陽光発電パネルの設

置については、今のところ計画していません

が、今後、検討していきたいだと考えています。



近隣市町村の校舎屋上に設置されている太陽光発電パネル

緊急雇用創出事業の内容はいかに

山田町長／五社山の森を整備している

北郷 国の緊急雇用創出事業を

活用して、町では、現在の厳しい雇用情勢に対応するため、非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の就職までの短期雇用を目的に求人募集を行っています。事業内容は、こういったものです。

今後も非常に厳しい雇用状況が続くので、事業を継続すべきではないですか。

町長 これまで単独で取り組んでいた「五社山ふるさとの森の整備」を今回の緊急雇用創出事業に切り替えて、登山道や周辺整備を計画しました。

事業内容については、双葉地方森林組合に整備を委託し、ハローワーク富岡を通じて町内在住者4人が就業しています。

今後も10月から後期対策として同事業を継続し、雇用と就業機会の提供に努めていきます。



北郷 幹夫 議員